

2016年12月15日

東武線の主な駅119駅で導入

12月20日（火）より、駅係員による
お客さまご案内用 iPad の活用を開始します
東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2016年12月20日（火）より東武本線・東武東上線の主な駅（計119駅）において、駅係員によるお客さまご案内用 iPad の活用を開始します。

当社では、かねてよりお客さまへのご案内時に活用できる情報端末の導入を検討、2015年12月10日より一部の駅において iPad の試験運用を実施してきましたが、このたび、設置駅を拡大して本格的に運用を開始することにより、インターネットや音声翻訳アプリを活用したご案内を行う等、近年急増している訪日外国人観光客等の様々なお客さまに対する更なるサービス品質の向上を図ります。

なお、当社では訪日外国人旅行客への接遇力の向上を目指し、2016年7月から駅係員・乗務員を含めた約6,000人の当社従業員に対し英会話研修も実施しています。今後も当社は、様々なお客さまが安心して便利にご利用いただける鉄道を目指します。

概要は以下の通りです。

1 導入日

2016年12月20日（火）

2 導入駅および台数

119駅 合計129台

3 導入機種

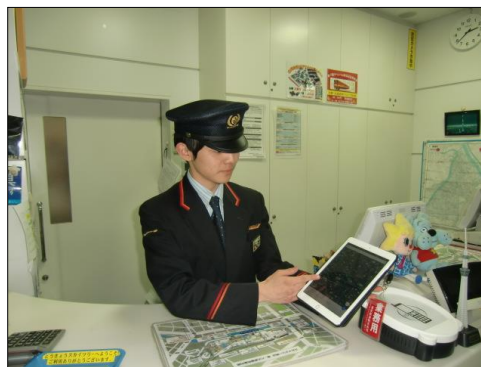
iPad Air 2

4 導入箇所

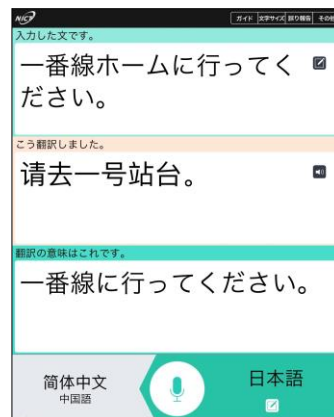
改札口、駅事務室等

5 主な導入目的

- (1) インターネットやアプリの活用による
ご案内のサービス品質向上
- (2) 音声翻訳アプリ「VoiceTra」の
活用による多言語への対応



△駅係員用 iPad を使用したご案内（イメージ）



△音声翻訳アプリ「VoiceTra」画面（イメージ）

【備考】

※ iPad は Apple Inc. の登録商標です。

※ 「VoiceTra」は、国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）が開発した旅行会話用の多言語音声翻訳アプリです。英語のほか、中国語、韓国語など31言語に対応しています。

以上

